



美原小だより



<学校教育目標>「自ら学び 心豊かでたくましい子どもの育成」

- ・考える子（かしこく）～こつこつ～
- ・思いやりのある子（やさしく）～にこにこ～
- ・元気な子（たくましく）～すくすく～

<1月の生活目標> お世話になっている人に感謝しよう 平成31年1月8日（火）

1月号



新年にあたり、この詩を紹介します

便所掃除

濱口 國雄

扉をあけます
 頭のしんまでくさくなります
 まともに見ることが出来ません
 神経までしびれる悲しいよごしかたです
 澄んだ夜明けの空気もくさくします
 掃除がいっぺんにいやになります
 むかつくようなパパ糞がかけてあります

どうして落着いてしてくれないのでしょうか
 けつの穴でも曲がっているのでしょうか
 それともよっぽどあわてたのでしょうか
 おこったところで美しくなりません
 美しくするのが僕らの務めです
 美しい世の中も こんな処から出発するのしょう

くちびるを噛みしめ 戸のさんに足をかけます
 静かに水を流します
 パパ糞におそろおそろ箒をあてます
 ポトン ポトン 便壺に落ちます
 ガス弾が 鼻の頭で破裂したほど 苦しい空気が発散します
 落とすたびに糞がはね上がって弱ります

かわいた糞はなかなかとれません
 たわしに砂をつけます
 手を突き入れて磨きます
 汚水が顔にかかります
 くちびるにもつきます
 そんな事にかまっていられません
 グリグリ美しくするのが目的です
 その手でエロ文 ぬりつけた糞も落とします
 大きな性器も落とします

朝風が壺から顔をなぜ上げます
 心も糞になれて来ます
 水を流します
 心に しみた臭みを流すほど 流します
 雑巾でふきます
 キンカクシのうらまで丁寧にあてふきます
 社会悪をふきとる思いで力いっぱいふきます

もう一度水をかけます
 雑巾で仕上げをいたします
 クレゾール液をまきます
 白い乳液から新鮮な一瞬が流れます
 静かな うれしい気持ちですわってみます
 朝の光が便器に反射します
 クレゾール液が 糞壺の中から七色の光で照らします



便所を美しくする娘は
 美しい子供をうむ といった母を思い出します
 僕は男です
 美しい妻に会えるかも知れません



新年早々、トイレ掃除の話題か、と思われる方もいることと思いますが、お許しください。

この詩の作者、濱口國雄さんは、長年国鉄の職員として勤務されていた方です。濱口さんが仕事を始めたのは、まだ敗戦の空気が色濃く残る時代。駅のトイレも、いわゆる「ぼっとな便所」と言われる汲み取り式のもので、その汚れ方も大層酷かったと思います。それを作者は「美しい世の中」をつくりだすため、「社会悪をふきとる思いで力いっぱい」ふき取ります。

汚れた駅の公衆便所についてうたいながらも、この詩は、最後に読む人の心に爽やかで清々しい印象を残します。この「美しさ」について、美原小の皆さんにも、ぜひ感じ取ってもらいたいと思います。詩の解釈は様々かと思いますが、この作者が一生懸命、ひたむきに汚れと格闘する、その姿が、朝の光の中に七色に輝くような美しさを生むのだと思います。

世の中に、無駄な仕事も雑用もありません。何かにひたむきに取り組む姿は、人の心を動かす「美しさ」を生み出すのです。

平成30年度 青少年～明日へのメッセージ表彰

特選
金賞

銀賞

佳作



身体障害者福祉のための

第16回埼玉県児童生徒美術展覧会 入選

1年

2年

4年

5年

6年

所沢市基地対策協議会主催「基地跡地の未来予想図」 絵画コンクール 入選 3年



第53回 郷土を描く児童生徒美術展 入選

2年

3年



1月14日は、美原小学校の開校記念日です

美原小学校は、戦前の旧飛行場の跡地に建てられました。その飛行場及び周辺一帯は、かつて大字所沢、大字上新井という行政区画の中にありました。あまりにも広い行政区の中の一角であるため、この地区を特定したいという考えが生まれました。話し合いの中で、中島清一氏の俱美原（ともみがはら）という地名が賛同を得て、現美原町地区一帯は俱美原と名付けられました。

俱美原の「俱」は、トモニ、ミナ、いっしょに、ともなう、つれだつ、等と解されます。つまり「みんなが仲良く協力して、この地を美しい土地にしよう」という願望が込められ、俱に美しい原と名付けられたようです。

その後、昭和48年、新しい行政区画により町名をつける際、美原町町会長 北 教男さんや山崎文夫さん他のみなさんの話し合いの中で俱美原では語呂がよくないということで、俱をとって「美原」という地名が誕生したわけです。その最寄りの地に学校が建てられたので、美しい響きのある「ミハラ」を学校名として教育委員会が昭和50年1月14日に決定し、同年3月31日の市議会で承認されて、正式に美原小学校の校名が決まりました。

美原小学校の校名の由来については、美原小学校第9代校長 菅野功一先生が、当時の愛校会顧問の山崎文夫さんにお聞きしてまとめられたとのことです。

また、美原小学校校章は、昭和50年10月15日に制定されました。日本初の飛行場の跡地に建てられた美原小学校。その日本航空史上記念すべき土地柄を表すとともに、未来に大きく羽ばたく鳳を象徴し、小学生の夢を図案化したものです。カタカナの「ミハラ」と漢字の「小」の文字を組み合わせました。図案を作成したのは、弥生町の尾崎輝男氏と4年2組（当時）の尾崎律子さんです。

1月の主な予定



- 1日（火）元旦
- 8日（火）第3学期始業式、一斉下校
短縮4時間（給食無し、12:10下校）
- 9日（水）給食開始、発育測定（1、6年）
- 10日（木）体育朝会、委員会⑨、
発育測定（3、4年）
6年出前授業（中学校の先生による）
- 11日（金）発育測定（2年）
5年社会科見学（ロッテ工場）
- 14日（日）成人の日、開校記念日
- 15日（火）授業参観（1、3、5年）
校内書初め展（18日まで）
発育測定（5年）
- 16日（水）読み聞かせ
- 17日（木）児童朝会、クラブ⑩
- 18日（金）あいさつ運動、
授業参観（2、4、6年、おおぞら）
6年薬物乱用防止教室
- 24日（木）音楽朝会、クラブ⑪
- 25日（金）持久走記録会、とことこお話し会
- 26日（土）かるた大会
- 29日（火）持久走記録会予備日
- 30日（水）短縮4時間、たてわり班遊び
- 31日（木）全校朝会、クラブ⑩、クラブ見学
6年出前授業（中学校の先生による）



※詳しくは学年だより・保健だより等をご覧ください。
※1月15日～18日は、お隣の美原中学校の学校公開日となっています。ぜひ小学校の保護者の方もご来校くださいとのことでしたので、ご案内いたします。